

2026 年 7 月 3 日

急性期中核病院手術センターの皮膚損傷報告の現状

◆研究の目的と概要◆

当院では、手術センターの皮膚損傷報告の現状を調べています。本研究では、手術センター内で発生した皮膚損傷の現状について明らかにすることを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2013 年 4 月から、2026 年 3 月までの間に、手術を行い、皮膚損傷が生じた患者さん

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢・性別・BMI・麻酔時間・手術時間・術式・体位・既往歴・術前からの骨突出の有無・術前の栄養と貧血の検査値・皮膚状態・発生要因・褥瘡の重症度・保護具の使用・除圧マットレスの使用・除圧のタイミング・看護計画立案状況

◆研究方法◆

電子カルテ・皮膚損傷報告書のデータを集計し、事象分類別(診療科、患者要因、発生要因、手術要因、保護具の使用、除圧の頻度)を年度別に分け現状を明らかにします

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

主術センター 研究責任者 佐野早苗

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明